

関西大学グリークラブ OB 会 EAST 合唱団【練習報告】(全 3 ページ) 記載: 辻本 (41 期)

【日時】2018 年 10 月 6 日 (土) 18:00~20:30

【場所】神田さくら館 5 階音楽室 <https://www.city.chiyoda.lg.jp/shisetsu/annai/022.html>

【参加】T1: 松森、仲村 T2: 玉山、辻本 B1: 大山、松崎 B2: 土井、福家、阪田 (敬称略 計 9 名)

【内容】

① In that new Jerusalem(Spirituals) : 担当 大山先輩

★大山先輩が以前にお配りした楽譜をジャズアレンジしたものを起こし直して再配布いただきました。これを基に T2 の冒頭及びそれに続く B2 のメロディを全員で歌ってイメージをつくり、最後に 4 声で通しました。

・ジャズアレンジの楽譜の冒頭にほぼ記載されてある速度記号の後の 8 分音符 2 つ = (3 連符の) 4 分音符 + 8 分音符という指示は、この通り楽譜上は 1 拍を 8 分音符 2 つに分けて書いてあっても、歌い方は前を長く後ろを短く歌う、つまり引っ掛けるような歌い方にしてください、ということになります。つまり、カタカナで書くと『タタタ』というリズムは『タータタータ』みたいなイメージになります。更に今回はその 1 個目と 3 個目の『タ』を前の拍の裏にあてるようなリズムになりますので、4 拍子では普通弱くなる 2 拍目や 4 拍目裏に強制がきます。これによる日常とは離れた感覚の音楽が展開されるのですが、Jazz の楽譜ではそう演奏するのが普通なので、敢えてこうした表記や演奏リズムの説明はないそうです。ですので、例えば T2 の冒頭ソロ後コーラス部隊が『That new』や『Jerusalem』で入ってきますが、その際の入りの音に強いアクセントを立てるイメージを持っておいください。

・尚、楽譜の音の訂正があります。

1) 38 小節目: B2 1 拍目の H は 1 音下げて A

2) 72 小節目: T2 4 拍目の C (ナチュラル) は半音下げて H

② 男声合唱組曲『雨』より『雨の日に見る』(多田武彦 作曲 大木惇夫 作詩) : 担当 松森先輩

★再度全体の音を階名読みと ma 母音和音を確認しながら歌詞をつけ、最後に通しました。

・冒頭のユニゾンの G がピタッと合まる(合う)かで、この曲のその後の和音の出来を全て左右するといっても過言ではありません。是非ここは聞き合いながら、次の C の和音を広げていきましょう。

・基本 4 拍子でかかれています、大きな 2 拍子を感じながら歌った方がより言葉(文章)が前に出てくると思います。また、20 小節から最後まで、多田武彦作品の中でも希少かもしれませんが、ずっと同じ歌詞と音符の長さが全パートに与えられていて、和音とテンポが変化していきます。基本 C ➡ Am ➡ Dm で、C で解決みたいな感じですね。ですのでここは簡単な曲に見えますがハモリが崩れてしまうと全然面白くない演奏になりますのでよう聞き合いながら歌っていきましょう。

③ Going Home(A.Dvorak 作曲 W.A.Fisher 作詩、編曲) : 担当 阪田先輩

★中間部(20~33 小節付近)の再度の音確認と歌詞つけを行いました。

・基本 2 小節ごとを 1 フレーズとし、ブレスのタイミングを取ってください。特に 35 小節目はページの変り目でもありブレスを取りがちになりますので、要注意です。

・ピアノ伴奏部分をカットしてつなげています。つなぎめの 24 小節から 27 小節、及び 41 小節から 44 小節は、27、41 小節に軽くフェルマータをかけてから 27、44 小節に入る前の予備拍をとりますので、そこでしっかりブレスをとっていただき、入りが崩れないように指揮をよく見てください。

・曲の流れ上 28、29 小節のそれぞれの T2 と B1 のパートソロはダイナミクスは mf くらいで入ってください。

・44小節の入りのppはその前の盛り上がった後の再びの静寂を表しますが、濃密なppを演出し、ラストに持っていきたいので、決してビビることなくしかし繊細にハーモニーを決め、小さい音量でも客席の後ろまで聞こえる緊張感のあるppにしましょう。

④ Ave Regina Coelorum (V.Miskinis 作曲)

★久しぶりになりましたので、冒頭の曲のテーマを8小節あたりまでna母音で確認後、ハーモニー、リズムの感じ方を統一してから歌詞をつけて8小節までのリピートまでを通しました。

・Aveという言葉は『讃えよ』という意味になりますが、当然言葉としては『A』の方が『Ve』より欲しいので、冒頭のT2以外のパートは『Ve』に入ったら少し減衰させるイメージで次の『A』を遅れないように注意してください。

・T2だけが他のパートと違う動きをしますので、メロディとして横の流れを、これに対して他の3パートは縦の線を揃えてリズムパートとして少し固めに歌ってください。その対比が面白い曲になっています。

・『Regina』(お后様)という言葉は『gi』にアクセントがありますから、7小節3拍目から8小節にかけてのB1以外のパートは7小節4拍目の裏にある『gi』のタイミングとその後のシンクペーションは甘くならないよう注意してください。

【次回練習日】

2018年10月20日(土)18:00~20:30 : 国立オリンピック記念青少年センター 10 (0124#)

アクセス : <https://nyc.niye.go.jp/category/access/>

【楽譜】一応下記の内容は全て用意だけお願いします。

- ① Listen to the Lambs (Spirituals より)
- ② Dear Heart (H.Mancini 作曲 J.Livingston 作詞)
- ③ Joy To The World (F.Hendel 作曲)
- ④ No body knows the trouble I've seen(Spirituals)
- ⑤ Babylon's Falling(Spirituals)
- ⑥ In that new Jerusalem(Spirituals)
- ⑦ 一月 (多田武彦作曲)
- ⑧ 雨の日にみる (多田武彦作曲)
- ⑨ Going Home (A.Dovrak 作曲)
- ⑩ Regina Coeli (グレゴリオ聖歌)
- ⑪ Ave Regina coelorum (V.miskinis 作曲)
- ⑫ Sydameni Laulu (J.Sibelius 作曲)
- ⑬ Limu Limu Lima(スウェーデン古歌 S.Soderberg 編曲)
- ⑭ さくら (松下耕編曲)
- ⑮ Memory (ミュージカルCats より)
- ⑯ ロマンチストの豚 (木下牧子作曲)
- ⑰ 虹 (木下牧子作曲)

【その他】

次回ファミリーコンサートにつきまして、2019年3月16日（土）もしくは3月23日（土）を予定しています。

【上記以後の練習日程予定】※会場はさくら館の抽選状況（11月分は10/1）によっては変更になる場合があります。

国立オリンピック記念青少年センターアクセス：<https://nyc.niye.go.jp/category/access/>

神田さくら館アクセス：<https://www.city.chiyoda.lg.jp/shisetsu/annai/022.html>

2018年10月24日(水)18:30~20:30 :オリセン 38

2018年11月10日(土)昼か夜 : さくら館予約次第

2018年11月14日(水)18:30~20:30 :オリセン 10

2018年11月17日(土)昼か夜 : さくら館予約次第

2018年11月24日(土)昼か夜 : さくら館予約次第

2018年12月08日(土)13:30~17:00 :オリセン 23

2018年12月15日(土)18:00~20:30 :オリセン 35

以上です。